

平成29年9月15日

那須烏山市議会議長 渡辺 健 寿 様

文教福祉常任委員会委員長 田 島 信 二

### 決算審査結果報告書

本委員会に平成29年9月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成29年9月11日（月）及び12日（火）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 田島信二、小堀道和、望月千登勢、渋井由放、渡辺健寿、樋山隆四郎
- 4 説明のための出席者  
市民課長 佐藤加代子、福祉事務所長兼健康福祉課長 稲葉節子、こども課長 神野久志、学校教育課長 岩附利克、生涯学習課長 柳田啓之、文化振興課長 糸井美智子、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成28年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

#### 市民課

- ・市民と最も接する頻度が高い業務内容であり、「市役所の顔」として接遇の向上に努力されていることを評価する。さらなる向上を期待する。また、今後マイナンバーを利用した各種行政手続きにおける連携が広まることを念頭に、市民へマイナンバーカードの利点を周知し、普及啓発に努められたい。

#### 健康福祉課

- ・今後、一層高齢化が進むことにより、医療・福祉に係る費用の増加は明らかであるため、対策として予防事業に力を入れる必要がある。行政主導の事業に限らず、地域や市民による見守り活動、居場所づくり等の自主事業を育て、また、健康マイレージ事業等の活用により、市民が可能な限り自立し、自ら健康でいる意識を持たせることを目標とされたい。
- ・高齢者福祉タクシーとまちづくり課所管デマンド交通は機能が類似、一部重複している。デマンド交通のほうが対象を広く設定しているため、高齢者福祉タクシーの代替、包括が可能であるか調査のうえ、調整されたい。

#### こども課

- ・乳幼児健康診査や面談、家庭訪問等において、現状でも母子に対するケアを十

分にされているが、特に困難を抱える親子、家庭に対する手厚い支援に特化することを提案する。また、担当職員の加重負担を解消するため、行政以外に対応の協力を求めることができるような仕組みづくりを検討されたい。さらに、他市町と比較して優位性があり、市外から転入し、定住を検討する若年者にとって魅力の一つとなるような市単独事業について検討されたい。

#### **学校教育課**

- ・子どもが今後の人生において自ら目標を持ち、達成する力を伸ばすための「生き方」の教育を重視されたい。
- ・英語教育推進事業については、英検上位級の受検者、合格者数の増加等の効果が現れている。教員の指導力向上の取り組みに加えて、生徒自身が意欲を持ち、希望して学習し、能力を伸ばす教育施策を推進されたい。同様に文武両道教育推進事業においても、多様な可能性の発見、選択肢の提供の観点による事業展開をされたい。

#### **生涯学習課**

- ・各種団体活動や市民活動における事務局としての働きには感心する。市民協働を実現するためには活動に寄り添うことは大切だが、導く役割に力を注がれたい。各種役員、団体や地域のリーダーを育成、活用することにより、活動の当事者主体化を指導、支援されたい。

#### **文化振興課**

- ・日本ジオパーク認定が見送られたため、事業の仕切り直しの検討が必要であると考え。ジオパーク構想の基本理念とこれを取り巻く環境を見直し、教育やまちおこしの視点を取り入れて事業を再構築されたい。同様に長者ヶ平官衙遺跡の活用についても、楽しく学習できるよう視覚に訴える工夫をする等、市民を巻き込む活動が生まれることを期待する。